

日本 NPO 学会 理事会第 11 期 第 1 回理事会 議事録

開催概要

日時：2020 年 6 月 6 日（土）16:55～18:33

場所・開催方法：日本 NPO 学会事務局を拠点としたオンライン開催

- ・日本 NPO 学会事務局：〒770-8502 徳島県徳島市南常三島町 1-1
徳島大学総合科学部公共政策学研究室内
- ・オンライン WEB 会議ツール：Zoom (<https://zoom.us/>)

出席理事：岡本理事兼選挙管理者（第 10 期会長）、青尾理事、石田理事、大久保理事、岡田理事、川中理事、菊池理事、粉川理事、小島理事、小田切理事、坂本理事、桜井理事、菅野理事、出口理事、戸川理事、中嶋理事、長谷川理事、早瀬理事、松島理事、三木理事、森理事、李理事

欠席理事：稲葉理事、鈴木理事、仁平理事

出席監事：濱口監事、上原監事

配布資料

- ・別添の資料を参照

1. 理事会の成立、進行、出席者の確認

- ・理事会の成立の確認

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症拡大への対応策として、理事会を「Zoom」を利用したオンラインで開催することについて確認が行われた。そのうえで、会則第 26 条の定めにより、過半数の理事（25 名中出席 22 名）の出席があり、本理事会が成立していることが確認された。

- ・議長

会則第 25 条および正副会長選挙実施規程第 2 条の定めにより、本理事会は岡本選挙管理者（第 10 期理事会会長）が議長を務めることが確認された。

- ・議事録署名人の選出

第 26 条第 3 項に基づき、議事録署名人として岡田理事、桜井理事が選出された。

2. 審議事項の経過と結果

(1) 第1号議案：第11期理事会会長の互選について

・岡本選挙管理者より、第11期理事会の会長を互選するための選挙を実施する旨、提案があった。正副会長選挙実施規程を最大限尊重して実施すること、選挙管理者は前任会長が行うことになっていること、選挙は、Zoomの投票機能を用いて行うこと、理事会欠席者による不在者投票の開票を理事会の場で行うこと、選挙管理者である岡本会長は3通の不在者投票を遠隔で処理することもあり技術的負担もあるので投票を辞退すること、などについて説明がなされた。

・小田切事務局長より、Zoomを用いた投票方法について説明があった。会長選挙の被選挙人は辞退者を除いた16名（第1号議案資料1参照）であること、本日の出席理事数が22、不在者投票数が3、投票辞退数が1名、の合計24名による投票となること、不在者投票分は岡本会長がZoomの面前で開封しつつ、無記名投票であることを配慮したうえで全体の結果に反映させること、などについて説明が行われた。

・出席理事22名の自己紹介が行われた。

投票結果

・投票の結果、石田祐理事が12票で当選人となった。

質疑

- ・12票では過半数に満たないので決選投票となるのでは。
- ・1名、棄権というか白票がいる。
- ・有効投票数は何人になるのか。23名なら過半数ではないか。
- ・いまのこの状態で決めると禍根を残すので、決選投票をしてはどうか。
- ・白票という設問がないので、決選投票をした方がすっきりするのでは。
- ・この投票されていない方は、選挙規程16条の①か②あたりに該当するのでは。

⇒（岡本選挙管理者）

- ・順番に整理する。規程の第16条によると白票は無効票となっている。つまり、有効投票数は23になり、石田理事が当選ということになる。これでよろしいか。

承認事項

審議の結果、石田祐理事が第11期理事会の会長に選出された。

(2) 第2号議案：第11期理事会副会長の互選について

・岡本選挙管理者より、第11期理事会の副会長を互選するための選挙を実施する旨、提案があった。会長選挙と同様の趣旨・方法で実施することについて確認がなされた。

・小田切事務局長より、副会長選挙の被選挙人は15名（第2号議案資料1参照）であること、本日の出席理事数が22、不在者投票数が3、投票辞退数が1名、の合計24名による投票となること、不在者投票分は岡本選挙管理者がZoomの面前で開封しつつ、無記名投票であることを配慮したうえで全体の結果に反映させること、白票は会長選挙と同じ扱いにすること、などについて確認が行われた。

質疑

・Zoomでの投票を行ううえで、不在者投票がやり方を複雑にしている。会則上は理事会の互選となっている。細則をつくるときにどのような議論があったのか。

⇒（岡本選挙管理者）

・もともと、年次大会の際に集まって実施することを想定していた。しかし、参加できない方が出てくるので、欠席者の権利を保障する必要があるということで正副会長選挙に不在者投票が入ることになった。何らかのアプリ等を使って全員遠隔投票にする可能性もあったが、正副会長選挙実施規程をできる限り遵守するという点から、今回のような方法となった。なお、昨日の時点では不在者投票は1通のみであったため、このZoomでの方法を選択した。

投票結果

・投票の結果、坂本治也理事が15票で当選人となった。

質疑

・投票者数が一人多い。25名になっている。

・いま岡本選挙管理者の通信環境が悪かったということなので、もしかするとそれが原因か。

・もう一度投票するか。

・過半数を満たしているかどうかが問題である。1票引いたとしても、当選人は変わらない。

・記録としては、最後の1票を抜いた形で記録した方がいいのでは。

・会則上は互選となっている。念のためこの選挙結果でよいかどうか理事会として確認をとっておくのがいいのでは。

⇒（岡本選挙管理者）

・投票については、技術上の問題があったことで、一票集計上重複がでている。

この点は、不在者投票の際の技術的問題であることは、選挙管理者・庶務担当者及び参加理事の方々も確認していただいている。当選人が変わらないという点を重視し、この結果を確定し、記録は、選挙管理者と庶務とで作成す

ることとしたい。

承認事項

審議の結果、坂本治也理事が第 11 期理事会の副会長に選出された。

(3) その他

- ・石田新会長より、次期の事務局長が決定するまでは、小田切事務長に事務局運営を継続してもらうことについて確認がなされた。

以 上

議長

岡 本 仁 宏 印

議事録署名人

岡 田 彩 印

桜 井 政 成 印